

青年期における自己肯定感と対他者との意識に関連する要因の検討

著者	破魔 幸枝, 東 麻夢可, ? 清華, 原 久美子
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	12
ページ	28-28
発行年	2018-10-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1492/00001011/

青年期における自己肯定感と対他者との意識に関連する要因の検討

破魔幸枝¹⁾

東 麻夢可¹⁾ 濱 清華¹⁾ 原 久美子¹⁾

目的：自己肯定感は、他者との関係性により影響を受け、変化していると言われている。本研究は、自己肯定感に他者への自意識である「公的自意識」が影響しているという仮説のもと、自己肯定感と自意識との関連を調査した。

対象と方法：口腔保健学科 2 年生 61 名を対象とし、自己肯定感の 6 因子「自己受容」「自己実現」「充実感」「自己閉鎖」「自己表明」「対人緊張」と自意識の 2 因子「公的自意識」「私的自意識」の質問紙調査をおこなった。調査期間は、2017 年 9 月～2018 年 2 月に 3 回行った。統計的処理は、8 因子の Pearson の相関係数を SPSS Statistics 25 を用いて求めた。

結果：調査 1 回目は、「自己受容」「自己実現」「充実感」「自己閉鎖」「対人緊張」と「公的自意識」は有意な相関がみられたが、「私的自意識」は有意な相関がみられなかった。調査 2 回目は、「自己閉鎖」「対人緊張」と「公的自意識」、「自己受容」「自己表明」と「私的自意識」は有意な相関がみられた。調査 3 回目では、「自己実現」と「公的自意識」、「充実感」「自己閉鎖」「対人緊張」と「公的自意識」「私的自意識」は有意な相関がみられた。

考察：「公的自意識」が自己肯定感に関連することが、本学科の学生においてもみられたことから、自己肯定感に他者への自意識が関連すると考えられる。さらに、本研究の結果から、自己への自意識である「私的自意識」も自己肯定感に関連することがみられた。

1) 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科